



鳥取県生協  
ピースリレー  
平和のつどい報告

核兵器と戦争のない  
平和な世界へ向かって

1989年から続けてきた県内のピースリレーが、今年7月、4年ぶりに開催されました。終戦から78年、ウクライナでの戦争は長期化し、国際社会は分断され、国内では防衛費の増額や敵基地攻撃能力を可能とするミサイル配備の動きなど、日本の防衛戦略は、大きく転換しようとしています。そのような中、平和を願う私たちは、戦争反対の意思を示し、世界の平和とすべての核兵器の廃絶を訴えて、ピースリレーと平和のつどいを開催しました。

世代を超えて

国を超えて

まずはできることから

平和への願いを胸に

4年ぶりのピースリレー

倉吉（7月15日）・米子（同月16日）では、炎天下の中ピースリレーを実施しました。「子どもたちこそ地球を残しましょう」「世界中から戦争の火を消しましょう」と暑さに負けることなく、沿道の市民に力強く訴えました。鳥取（同月9日開催）では途中大雨に打たれながら、映画「となりのトトロ」の「さんぽ」のメロディに合わせて「雨の日も 暑い日も ヒロシマに向かって 歩き続けます」と笑顔で歩きました。雨によりリレーは途中で中止となりましたが、平和を願う気持ち、心一つにし、みんなでゴールに向かって歩くことができました。今年のピースリレーには市民平和行進や、県内全域で述べ157名のリレーの参加があり、より広がりのあるピースリレーとなりました。（参加内訳・東部：63名、中部41名、西部53名）



倉吉でのピースリレー参加者

平和のつどい報告

東部エリア

7・9（土）とりぎん文化会館 参加57名

佐々木禎子さんの願い

紙芝居公演・折鶴再生作業

2歳のとき被爆し、12歳で白血病を患い、病気が治ることを祈り、千羽の鶴を折り続けて亡くなった、佐々木禎子さんの紙芝居を上演しました。上演後、千羽鶴をリサイクルするための仕分け作業を行いました。参加者からは「折鶴が新しい形に生まれ変わることを初めて知った。」「紙芝居で禎子さんの友達が回結して原爆の子の像を建てたところは心打たれました。」「といった感想が寄せられました。紙芝居を上演した花房理事は「禎子さんや友人たちのエピソードから平和をつなげていく大切な感覚を感じてほしい。と話されました。」



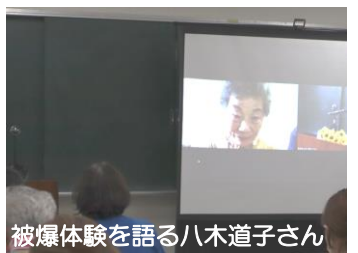
紙芝居を上演する様子

中部エリア

7・15（土）倉吉体育文化会館 参加44名

長崎被爆者八木道子さん 子どもたちの無念語る

「カー！カー！カー！原爆弾が落とされた瞬間の閃光と爆風の様子を語る八木道子さんの話に、私たちは耳を傾けました。当時6歳の八木さんは2階の自宅窓から飛行機に「おっ！」と手を振ったその瞬間、原子爆弾がさく烈。吹き飛ばされたながらも、幸い助かりました。長崎は、大変な惨状となり、普通の暮らしは一瞬にして奪われ、国民学校の子どもの多くが犠牲になり、「今もなお身元が分からず家に帰れない子どもたちがたくさんいる」とお話しされました。

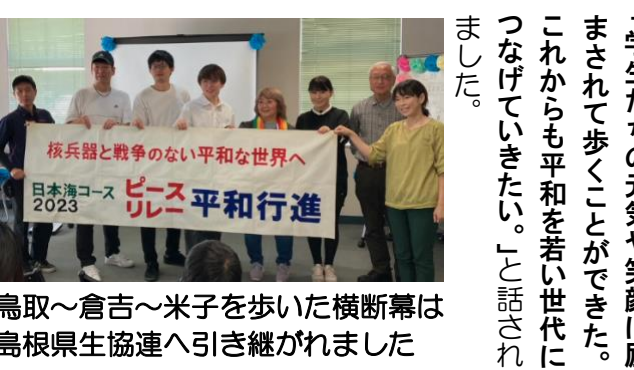


被爆体験を語る八木道子さん



写真：各地のピースリレーの様子

西部エリア  
7・16（日）米子市文化ホール（参加32名）  
若い世代 戦争受け止め 未来へ  
毎年恒例の鳥根大学生協学生委員会による、山陰の戦争をテーマにした平和クイズが行われ、楽しみながら学習しました。「被爆者からの伝言」(2016年制作DVD)の上映を行い、原爆被害や高校生の取り組みについて学びました。参加者からは「参加して発見することもある。同じ学生に取り組みを知ってもらえるよう広げていきたい。」などの感想が寄せられました。三原理事は「学生たちの元気や笑顔に励まされて歩くことができました。これからも平和を若い世代につなげていきたい。」と話されました。



鳥取～倉吉～米子を歩いた横断幕は鳥取県生協連へ引き継がれました



折り鶴昇華再生事業  
「平和の折り鶴カレンダー」  
注文期間 9月2回～12月3回  
注文番号 343307

広島平和記念公園の原爆の子の像に届けられる千羽鶴を、再生してつくられた「折り鶴リサイクル 3ヵ月メモカレンダー」です。メモ幅が広く3ヵ月分をひと目で確認できてスケジュール管理に最適です！

イベントのご案内

ドキュメンタリー映画で考える  
非戦と積極的平和国家づくり



10月15日(日) 3回上映

【時間】①9:30～11:00②12:00～14:00  
③14:30～16:30【入場料】上映協力金500円  
鳥取市民交流センター多目的室2・3  
「コスタリカの軌跡～積極的平和国家のつくりかた～」  
「沖縄、再び戦場へ」(仮題)スピンオフ作品  
【お問い合わせ】citizen.net.hope@gmail.com  
090-3639-9621 (棕田)



松元ヒロ笑ライブ in 米子  
11月4日(土)  
13:00 開演(開場 12:00)  
米子市文化ホール  
前売り 2000円 (中学生以上対象)  
注文番号 14052  
注文期間  
8/28(月)～10/6(金)  
注文書・e ふれんずから  
注文できます。



「ユニセフ募金」

ユニセフ募金は世界各地のユニセフ活動に活用される「一般募金」と国や地域を指定して活用される「指定募金」に分けて送金しています。鳥取県生協の「指定募金」では、ミャンマーの女性と子ども達のための栄養・支援プログラムに役立てられます。

募金番号	募金金額(1口)
1522	100円

募金番号	募金金額(1口)
1523	100円

「平和募金」

平和について学び、考え、広げて、次の世代に語り伝えていく活動を行うため、平和募金へのご協力をお願いしています。引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。

《各募金に関するお問合せ先》 鳥取県生協 組合員活動グループ ☎ 0858-85-0019  
(月～金:9:00～17:00)

見逃し配信のご案内

アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名  
第3次署名提出(最終署名提出)報告集会  
開催日時:2023年7月27日(木)10:00～11:45  
場所:みやぎ生協文化会館ウイズ

みやぎ生協・コープふくしま、宮城県漁業協同組合、宮城・福島両県の生活協同組合連合会の呼びかけで、2021年から始まった「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」の第3次署名提出が7月7日(金)に行われ、報告集会が開催されました。この署名は、放出反対の世論を作るだけでなく、福島が抱える復興と廃炉に向けた様々な課題に目を向ける大きなきっかけとなりました。約2年間にわたって、全国から集まった署名は254,354筆となり、鳥取県生協としても2021年度から、署名の協力をしてきました。報告集会では、鳥取県生協から、これまでの福島支援やアルプス処理水海洋放出問題の学習会の様子、組合員の声を伝え、福島の皆さんとの連帯の気持ちをお伝えしました。



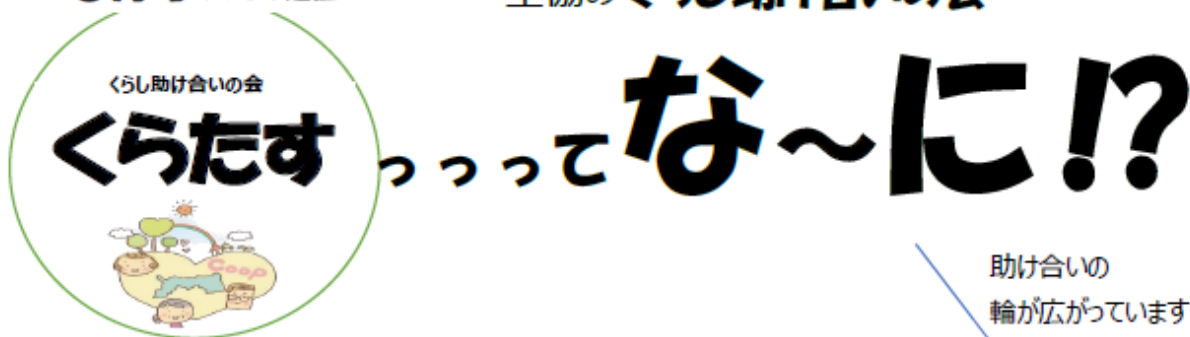
報告交流では、福島原発訴訟原告団からの報告や、とやま生協の福島支援・署名行動の取り組み、相馬双葉漁協の佐藤さんより漁業者から切実な生活不安の報告がありました。



見逃し配信動画で見られます  
←こちらからどうぞ  
パスワード:Fj4Z.\$0w  
\$…半角ドル 0…半角のゼロ  
視聴するにはZOOMアプリが必要です

9月号くらたす通信

生協のくらし助け合いの会



助け合いの輪が広がっています!

お手伝い1時間 900円

ハイ!それは 有償ボランティア活動

お電話ください 090-3172-1432 (担当:松本)

こんなことをお手伝いします お困りの方はご連絡ください!

食事づくり・片付け、洗濯、断捨離のお手伝い、カーテンかけ替え、扇風機・ストーブの準備や片付け、草取り、子育て支援(沐浴、お風呂、家事、子守りなどのお手伝い)、トイレ・お風呂掃除、ゴミ出し、生協注文書記入お手伝い、犬の散歩、買い物代行、お墓そうじ、お墓参り代行(墓花立て、水入れ替え、墓花片付け、草取り)など、

生活の中のカンタンな助け合い活動です

【活動費】お手伝いする人	【利用費】お手伝いを依頼する人
① 1時間 900円	① 1時間 1,000円
② 外作業+200円	② 外作業+200円
③ 時間外+200円	③ 時間外+200円
④ 交通費	④ 交通費

※活動会員(お手伝いする人)不足によりお手伝いできないこともあります。活動会員募集中!

お問い合わせ・お申込み先 090-3172-1432

活動継続のため 募金のご協力をおねがいします!

毎週できます!	注文番号(毎週可)	募金金額(一口)
くらし助け合い募金	1520	100円